

島根県立自転車競技場（仮称）の新設見直しについて

1 経 過

2030年の国民スポーツ大会は、島根県開催が内々定しており、出雲市では、自転車競技（トラック）を含めた10競技が会場地として決定し、準備を進めているところ
です。

県におかれては、自転車競技（トラック）の会場地の選定にあたり、島根県内に唯一
現存する大田自転車競技場（大田市）の老朽化が著しいこと等から、出雲市上塩冶町の
斐伊川放水路のグリーンステップC谷をその候補地として、令和3年から地元関係者や
島根県自転車競技連盟と協議をされ、新たな自転車競技場の建設に向けた検討がされて
きたところです。併せて、市においても国民スポーツ大会に向けて、競技団体と各種調
整を行ってきたところです。

その後、令和4年3月16日開催の国民スポーツ大会島根県準備委員会第2回総会に
おいて、出雲市が自転車競技（トラック）の会場地として正式に決定したところです。

2 県の動向

令和6年5月31日に、「自転車競技場新設見直し」の新聞報道がされました。その内
容は、県担当のコメントで「競技団体と協議している段階。いろいろな選択肢の中で話
を進め始めたところで、何か決まった話ではない」とする一方で、県競技団体からは「新
設費用の削減や代替施設の選定などを協議する必要がある」とし、建設中止も一つの選
択肢とした内容でありました。

また、6月4日の県知事定例記者会見において、5月31日の新聞報道と同様な見解
が示されたことに加え、国民スポーツ大会で求められる施設整備水準が高いことや、自
転車競技場の国民スポーツ大会後の利用頻度が極めて少ないことが予想されることなど
にも言及されました。

3 今後の市の対応について

現時点で県の具体の方針が定まっていないとのことであり、今後、広く情報収集に努
め、議会の皆様をはじめ関係者とも協議の上、市としての対応を検討してまいります。

島根県立自転車競技場（仮称）建設予定地

